

解答

一

問一 役人や学者や金持ちといった、町での上層階級の出来のよい子供たちを最も多く集めていたという特色。

問二 貧しい育ちの「私」が、美しく伶俐な上流階級の子供たちへ感じる引け目をまぎらわすには、勉強で勝つ以外の方法がなかったから。

問三 附属小学校にそぐわない風体の桜田が自分と同じく貧困の故に転学してきたであろうことを感じ、そのみすばらしさが自分のことのように思えたから。

問四 A エ B イ C イ

問五 教室では自分が誰よりも綴り方と図画を得意とし、それによってよく出来る生徒として目立っていたが、桜田がそれ以上の才能を披露したために、最も優秀な生徒という立場を奪われてしまったということ。

問六 「私」は桜田に勝ちたいと思う一方で、自分と似た境遇に置かれている彼女と誰よりも仲良しになれるし、なりたいたいと思った。また、彼女が才能を発揮し町の上層階級の子供達を圧倒することに小気味よさも感じていたということ。

二

- ① 郷里 ② 命脈 ③ 縦横 ④ 補給
 ⑤ 純真 ⑥ 群「がって」 ⑦ 調停 ⑧ 老練

右記の解答は、弊社が作成致しました。